

卒

業

生

へ

の

BOOK LIST

卒業・修了おめでとうございます！

これから社会に旅立つ皆さんに、ぜひ読んでほしい本、
20代で読んでほしい本などを先生方に選んでいただきました。

ぜひ、今後の読書にお役立てください！

2017.2

BOOK LISTにご協力いただいた先生方

● 工学部

物質工学研究系

高瀬聡子 先生 中戸晃之 先生 毛利恵美子 先生

機械知能工学研究系

平木講儒 先生

教養教育院

アブドゥハン恭子 先生 本田逸夫 先生

● 情報工学部

電子情報工学研究系

小田部荘司先生 藤原暁宏先生

機械情報工学研究系

伊藤高廣先生 田中和明先生

生命情報工学研究系

安永卓生先生、坂本順司先生、前田衣織先生

教養教育院

マッカーシー ターニャ ミランダ先生

● 工学部

高瀬聡子 先生のおすすめ

- 『サイロ・エフェクト：高度専門化社会の罠』
ジリアン・テット著；土方奈美訳 文藝春秋

(本館)

336.3

T-5

2016.2 ISBN: 9784163903897 本館 閲覧室2階 可動式書架 学生用図書

サイロ化した集団の中での常識が非効率なもので、各個人や集団に対してマイナスの影響を与えていても気が付かない。サイロ化した集団が負の方向に突き進んでいても気が付かず、会社や自治体全体に大きなダメージを与える場合がある。

ニューヨークを襲った同時多発テロで集まった救急車と消防車とパトカーがお互いの無線で連絡が取れないことに、テロの現場で気が付いた。ソニーが発表した新製品二つがお互いに競争相手になるような製品だった。

これは、ニューヨーク市役所やソニーの部門同士の連携がとれていなかったために起こったこと。

文化人類学者の著者が人間が形成する共同体の行動傾向を分かりやすく、具体例と示している。

会社の一員となる前に、サイロ化の悪影響を知っておくことは大事だと思います。

日本では女性のみが育児をするのが常識、しかし世界では非常識。

日本は、世界からみればサイロ化しているといえるかも。

- 『師弟』
野村克也, 宮本慎也著 講談社

(本館)

783.7

N-12

2016.4 ISBN: 9784062200615 本館 閲覧室2階 学生用図書

社会で勝ち抜くためにコツがわかる本です。野村さんや、宮本さんのように勝つための準備ができれば、社会でいい仕事ができるはず。

中戸晃之 先生のおすすめ

■ 論語

金谷治訳注

岩波書店（岩波文庫, 青(33)-202-1, 青-129,884-885a)

2001 ISBN: 4000071696 本館 閲覧室 1階 研究用図書 ※2001年出版のワイド版岩波文庫
 1963 分館 閲覧3階 総記 学生用図書
 1999.11 分館 閲覧3階 総記 学生用図書

(本館)

080
I-1
169

(分館)

081
I-4-1
202-1

(分館)

081
I-4-1
202-1-1

論語は、遠く飛鳥時代から第二次世界大戦の前まで、日本人の教養の指標であり続けてきた。その知識は、天下国家歴史社会文化…をまともに論じるための暗黙の資格だった（だから、論語の知識もない人間が教養やら世界やらを語ったら、ほとんどお笑い）。明治維新後の日本を作った人たちも、第二次大戦に引きずり込んだ人たちも、論語の影響下にあった。戦後の高度成長とバブルを経て、いま日本は、古代律令制以来はじめて、論語の教養をもたない世代だけで運営されている。

■ 歴史（世界の名著 5）

ヘロドトス；トゥキュディデス著

村川堅太郎責任編集 中央公論社

1970.8 本館 閲覧室1階 可動式書架 学生用図書
 分館 閲覧3階 総記 学生用図書

(本館)

081
S-1
5

(分館)

080
S-1
5

古代ギリシャはアテネとスパルタが繰り広げたペロポネソス戦争の記録。そこに描かれた人間のダメさ加減の普遍性。誰でも自分はまともな市民と思っているけれど、近視眼的で短絡的な世界観、やられたらやり返す単細胞、デマゴグによる煽動…。ぜんぶ今もどこかで聞く話。阿吽の呼吸が通じない、文化的背景の異なる人どうしの意思疎通ではなおのこと。トゥキュディデスは、国際的な活躍をめざす欧米大学生の必読書だ、という話がインターネット上にある。ならば、本学のGCE教育を終えglobal-readyになったとは、トゥキュディデスを読める状態になったということか。況んや、学生にGCEを求める教員においてをや。

(本館)

■ 『小泉今日子書評集』
小泉今日子著 中央公論新社

019.9

K-4

2015.10 ISBN: 9784120047794 本館 閲覧室 1 階 可動式書架 学生用図書

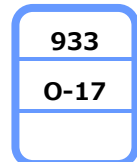
文章は形容詞から腐る、という。著者は、ふつうなら文章を壊すほどの形容詞を操って、本の中のさまざまな《人生》を語る。重い主題も軽やかに。それでいて文章が明晰なのは、確かな構成があつてこそ。文章を読むとは人を知ること。書くとは自己をさらすこと。著者のような本とのつきあいは、自分にはできないが、それを聞かせてもらうのは嬉しい。



毛利恵美子 先生のおすすめ

- 『一九八四年』
ジョージ・オーウェル著；高橋和久訳
早川書房

(本館)



2009.7 ISBN: 9784151200533 本館 閲覧室 1 階 ベストセラーコーナー 学生用図書

1949年に発表されたSF風社会批判小説。60年以上も前の社会情勢を批判した小説なのに、現在読んでも驚くほど当てはまることが多い！これは、この小説が本質的に重要なことを語っているということと同時に、人間社会がそれほど変わっていないという残念な結果でもあるのだろう。本書の「正気かどうかは統計上の問題ではない」という言葉は、個人の思考、独創性をきっと支えてくれると思う。

- 『現代の科学 3
(化学の歴史:プロメテから原子力まで)』
アシモフ,アイザック(玉虫文一/竹内敬人) 河出書房新社

(本館)



1969 本館 閲覧室3階 可動式書架 学生用図書

化学者でもありながら、特にSF・ミステリー作家としても有名な著者が、化学の歴史を古代から現代まで解説する。簡潔な文体でユーモアを交えて解説しており、読みやすい。錬金術から現代化学へどのように変遷したのかなど、化学の講義ではなかなか聞けない話が多く楽しめる。また、化学は西洋諸国で発達したという印象を抱きがちであるが、実際には西暦300年～1100年の西欧諸国における化学の空白を、アラビア諸国で蓄積された化学知識が補ったことにも言及しており、良心的な印象を受ける。

平木講儒 先生のおすすめ

(本館)

145.1

M-2

- 『無意識の整え方：人生が変わる！
身体も心も運命もなぜかうまく動きだす30の習慣』
前野隆司著 ワニブックス

2016.2 ISBN: 9784847094101 本館 閲覧室1階 ベストセラーコーナー 学生用図書

現役のロボット研究者の著書。4人の達人との対談スタイルで構成。自分でもスポーツの最中に体が勝手に動く経験をすることがあるが、「自分の行動を支配しているのは無意識である」というこの本の主張に惹きつけられた。本当に「人生が変わるか」、ぜひ試してほしい！

教養教育院

アブドゥハン恭子 先生のおすすめ

- チェルノブイリの祈り：未来の物語
スベトラナ・アレクシエービッチ [著]；松本妙子訳
岩波書店

(本館)

(分館)

1998.12 ISBN: 4000013882 本館 閲覧室2階 研究用図書

2011 ISBN: 9784006032258 分館 閲覧3階 工学・技術 学生用図書

986

A-1

543.5

A-2

原発事故から10年後にインタビューして、被災した人々の語りを集めたという形式。そこに普通に住む人々の言葉からチェルノブイリ原発事故が人間にとって何だったのかを考えさせてくれる。読んだことのない人はぜひ一度読んでみてほしい。

本田逸夫 先生のおすすめ

- 金融が乗っ取る世界経済：21世紀の憂鬱
ロナルド・ドーア著 中央公論新社

(本館)	(本館)	(分館)
081	333.6	333.6
C-1	D-1	D-1
2132		

2011.10 ISBN: 9784121021328 本館 閲覧室1階 文庫 学生用図書
 本館 閲覧室2階 可動式書架 研究用図書
 分館 閲覧3階 社会科学 学生用図書

インパクト
 私たち普通人の生活にかつてないほど大きな衝撃を及ぼすようになった世界経済——その近年の支配的な傾向である「金融化」が、本書のテーマである。そこでは、（付加価値を創造しない）金融（ないし投機）が（付加価値を創造する）実体経済に対する支配を強め、富・人材等をも吸収しつつある。そして「金融化」は、リーマン・ショック等のとんでもない危機をひき起こしたにもかかわらず、世界中に拡大し諸社会を大きく変質させている。

イデオロギー
 本書では、その「金融化」の諸局面、それを支える思想（「市場の効率性仮説」等）・技術（金融商品の「証券化」等）・政策（諸々の規制緩和等）、帰結（投機や不正取引の増殖、貧富の差の拡大、社会保障の衰退等）、そして金融危機の予防のための国際的な取り組みの内容と限界などが明らかにされている。難しいところは用語辞典（ネットにもある）などの助けを借りて読んでいけば、世界と日本の現状について多くを教えられるだろう。

たいか
 著者は英国人の日本研究の大家。かつての日本やドイツの資本主義に（一部、過剰に）好意的な立場から「金づくり」志向の「アングロ・サクソンの資本主義」が主導する「金融化」を批判しており、妥当な指摘が多い。その広大な視野とユーモラスで洗練された文章も、魅力的である。

きょうほん しやうじん うれ
 著者は、日本人が「金融化」のイデオロギーに「洗脳」され、利益の追求に狂奔する「小人の道」にいわば集団転向しつつあることを、憂えている。その言をどう受けとめるかが、「モノづくり」にかけるエンジニアはもちろん、日本人すべてに問われている。

※本書のより詳しい紹介は<https://www.lib.kyutech.ac.jp/lib/top/news/booklist2015.pdf>を参照。

■ 「虐待型管理」の真相: ブラック企業2

今野晴貴著 文藝春秋社 (文春新書)

(本館) (分館)

335.2	335.2
K-9	K-2
2	2

2015.3 ISBN:9784166610037 本館 閲覧室 2 階 可動式書架 学生用図書

分館 閲覧 3 階 社会科学 学生用図書

ブラック企業の存在が知られるようになった現在もその被害はやまず、深刻化してさえいるという。その様々の手法の解明が本書前半のテーマで、特に重要なのが、「精神の襞の奥に入り込」み「絡め取」る、その労務管理の分析である。それは、過酷な長時間労働と不断の業績ノルマの圧迫、家族・友人とのコミュニケーションの喪失などにより労働者を「自分を責める」以外の思考が不可能な「心神喪失」状態に追い込み、パワハラなどでそれを昂進させて、ほとんど無意識の労働を続けさせるものである。その労務管理は、日本のグローバル化の結果などではなく、「サービス業で莫大な利益を出すための方法論」だ、と著者は喝破する。そしてその手法は、製造業や「超大手・優良企業」にも浸透しつつあり、中高年社員も標的にしているという。

本書の後半はブラック企業対策論で、労働法や行政当局による取締が必要・有効な範囲(と限界)を示した上で、個別企業を越えた、労働時間と賃金の関係に関する「共通の基準」を——NPOやユニオン(新しい労働組合)による「労働市場の情報センター」の形成を通じて——確立することの重要性を強調している。最終章では、個別企業の短期的利益のみを追求する「近視眼的な経済運営」が人材を使い潰し「日本の未来」を破壊しつつある、と指摘されている。日本では社会全体に「思考停止」の風潮が蔓延し、“規制緩和で効率化し労働問題も解決する”との、非現実的で「でたらめ」な空論が跳梁している。そんな虚説に騙されず、人間が大切にされ「ほどほどのスピード」で走る、持続可能な社会への転換を実現すべきだ、というのである。

ブラック企業の毒牙から免れ、かつ社会の「ブラック化」を防ぐには、人々が通俗的な先入見から解き放たれ、「現場の現実」を知ること、そして未来を築くための社会的な知恵と行動力を身につけること、が必須であろう。その意味で、著者の分析とその提唱する解決策は基本的に妥当だと思われる。

※ 本書及び下記の『若者が働くとき』のより詳しい紹介は↓を参照。

https://www.lib.kyutech.ac.jp/library/sites/default/files/2016_第3版_0.pdf

■ 若者が働くとき：「使い捨てられ」も「燃えつき」もせず

熊沢誠著 ミネルヴァ書房

(本館)

(本館)

366
K-12

366
K-9

2006.2 ISBN: 9784623045938 本館 閲覧室 2階 可動式書架 学生用図書

分館 閲覧 3階 社会科学 学生用図書

働く中で、あるいは働こうとして苦難を強いられがちな、ふつうの若者たち——彼らへの、「「使い捨てられ」も「燃えつきもせず」」とのメッセージを込めて、有数の労働研究者が「懸命に」まとめたのが本書である。

著者は、若者に寄り添い穏やかに語りかける文体で、若年労働者の諸問題を実証的・体系的・多面的に（経済・社会政策、経営、労使関係、学校や家庭との関係、ジェンダー等々との関連で）論じており、その考察は緻密で説得的である。特に、「日本的」「伝統的」な経営や政策志向が労働者の内面に食い入って安価で苛酷な労働を受容させる、その根深い問題点、正社員が置かれた苦境等、重要な諸問題に（研究史上、いち早く）着目し探求している。また、（ノン・エリート）の職業労働のもつ、自己実現としての意味や、労働者が自ら状況を改善するための、社会構造の「深い」学習や労働組合活動の根本的な重要性についても、適切な助言をしている。労働のやりきれぬしんどさとの関係で、「したたかに趣味を楽しむ」ことをすすめた言葉も、若者への愛情を感じさせる。

著者は、若者に“正社員になれ”と求める主張や、若者にこらえ性がないということに彼らの離職の多さや貧困化の原因（責任）を求める説は的外れだ、とする。そして、フリーターのままでもまともに暮らしていけるような支援策が必要だし、また若者がフリーター、ニートに自足しがちなのは職業能力に対する自信のなさによるのだから、公的な（かつ無償かそれに近い）職業教育・職業訓練が不可欠だと論じている。「企業の雇い方、働かせ方を聖域視」し経営権の「専制」を認めるような（戦後日本の伝統に属するともいえる）発想こそを改めて、それを問い「鋳入れ」しなければならない——その著者の考えは、現政権などとは正反対だが、正鵠を射たものと思われる。

本書の諸々の充実した考察から、そしてそれらを一貫する著者の誠実さにも、学びたいものである。

■ 北九州学 その10（基盤教育センターブックレットNo.11） 北九州市立大学基盤教育センター

(本館)

2014.12 本館 閲覧室 2 階 可動式書架 学生用図書

219.1

K-29

10

「北九州学」と題して北九州市立大学で行なわれた諸講義のシリーズの一冊。本号所載の講義の中で次の三つが秀逸である。

- (1) 西田新平「生活保護行政から見る北九州市の「人」と「街」——生活保護行政をめぐる二〇〇〇年代の出来事を手がかりに——」
- (2) 奥田知志「^{きずな}「絆」の制度化」 第三の困窮——関係的困窮に対する人格的支援のしくみづくり」
- (3) 林えいだい「「青空がほしい」 戸畑区婦人会のたたかい」

(1)では、北九大の教授（社会学）である著者が、生活保護の基本的な仕組と特徴から説き起こし、2000年代に生活保護申請に関連して門司・八幡・小倉で生じた「孤独死」事件の「歴史的・社会的な背景」を検討している。合併による北九州市成立以来の開発至上主義の反面としての生活保護費の抑制政策が十大都市の中で北九州市の「人」と「暮らし」の水準の低さを帰結したこと、末吉市政にみられるように、「住民主体の地域づくり」が、実は多分に「生活保護費を抑制するための一手段に^だ墮し」たことなどが指摘されている。北九州市の歴史と現状、そして課題について受講者（読者）の関心をよび^{いざな}覚まし、深く観察し考えることに誘う、啓発的な講義である。

(2)では、キリスト教会の牧師で、1988年から北九州市でホームレス支援活動が続けてきた著者が、リーマン・ショックの年、2008年以来、くり返し発生した無差別殺傷事件で犯人たちが発した、「誰でもいいから殺したかった」との言葉を手がかりに、その私たちへの問いかけとしての意味を探っている。そしてそれを、人間を人格ならぬ物扱いした、「非人間的雇用」である非正規雇用に対する反発の表現だととらえている。言いかえれば、家族・友人などの「人と人との関係を象徴するような、いわばホームと呼べるような関係性」＝絆の欠落としての、「関係の困窮」に対する叫びだったのではないか、というのである。日本社会の根源的な問題に対する著者の洞察や、実際の運動で得られた知見から、学ぶところは多大である。

(3)は、著者のノンフィクション作家としての出立と密接に係わる、半世紀以上前の、若き公務員時代の経験を語っている。謙虚で気さく、かつ方言を交えた親しみやすい語り口で（長年の蓄積に基づく）豊かな知見を分けてくれるとともに、自らの人生史に重ねて「人生の中で志をもつ」必要をさりげなく訴えており、得難い内容である。本学と関係する叙述も多い。

著者がその教育委員会で働いた頃の戸畑市は日鐵化学・八幡製鉄所などを発生源とする煤塵汚染が凄まじく、著者の家族も喘息で苦しめられた。その（公害）問題を公民館の社会教育のテーマとするには、戸畑の企業城下町としての性格が大きな壁だった。しかし、かつて（=1951年に）戸畑・中原の婦人会が、住民と市長の直接交渉という巧妙な方法で煙突公害を解決した経験に学んで、著者担当の三六地域の婦人会も学習と運動を進め、結局、新日鉄の工場に巨額の集塵装置を取り付けるよう要求して、実現させた。

その間に婦人たちは、本学や九大などの協力による資料収集、公害の実態の記録映画「青空がほしい」の自主製作など、めざましく活動した。婦人たちの覚醒と活躍には、女性の元来の強さに加えて、戸畑の独自の「風土」と歴史——安川・松本財閥による明治専門学校（=もちろん、本学の前身）の設立を通じた教育の充実、そして戦後の占領軍による、小集団学習を中心とした婦人の民主主義教育——が与っていたという。

著者は、「ひとりの馬鹿が、一つのことに執着して、今まさに死を迎えんとしている」と自らを描写している。小利口さがはびこる、社会の卑小な現状との対照において味わうべき言葉であろう。

※ 本書と下記の諸書のより詳しい紹介は、本年のブックリストの第2版以降で行なう予定である。



■ 「助けて」と言おう

奥田知志著 日本キリスト教団出版局

(本館)

198.6

0-3

2012.8 ISBN: 9784818408227 本館 閲覧室1階 可動式書架 学生用図書

本書で著者は、自らがこれまでもよく用い、3.11以後はブームになり日本中で氾濫した「絆」という言葉について、ホームレス支援及び被災地での支援活動の経験にふれながら、その意味を深く掘り下げている。

震災後には、「震災婚」＝いざという時に必要な伴侶を得るための結婚、や老後の「リスク・ヘッジ」(危機回避)としてのサークル活動、などの言葉が聞かれるようになった。そこには、他者を自己の手段とする発想がひそんでいる。そのように、今の「絆」論では、“本来の人間関係＝「絆」とは責任とリスクを互いに負うものだ”ということが見落とされている、と著者は指摘する。そのリスクとは、「絆」において必然的に生じる、傷つくこと、である(支援活動の「出会い」の場でも、差し出した弁当などが拒まれたり、「俺たちを憐れんでるんだろう」と反発されたりする由である。おそらく介護などでも同様のことがあるだろう)。

そして、その傷つくことを恐れ嫌って、避けるために人々が持ち出した理屈が「自己責任」論である。それは、「私事」に他人が係わり人を生かす仕組としての「社会」を崩壊させるものであり、人々から「助けて」と声をあげることを奪ってしまった。だが、「助けて」と言うことはある意味で信仰告白に近い、と著者は言う。そして、キリストの「十字架」は、神が傷を引き受けて人間と絆を結び、人間を救ったことを示しており、それは軽薄で身勝手な「絆」論や「自己責任」論の対極を成す、としている。

本書で述べられているのは、著者が自ら困窮者の「隣人」になろうとして傷つき苦しみながら深めてきた思想である。読者は、信仰の有無にかかわらず、本書から、人が本当に生きる(生かされる)とは何か、という根源的な問いについての対話に導かれてゆくであろう。

■ 「逃げ切れ!日本の医療」
堤未果著 集英社（集英社新書）

(本館) (分館)

364.4	498.1
T-1	T-3
2	2

2015.5 ISBN:9784087207859 本館 閲覧室 1階 ベストセラーコーナー

学生用図書

分館 閲覧 3階 自然科学

学生用図書

「世界最速で高齢化する日本は、投資家たちのドリームランド」だそうだ。「医療と介護は、需要が拡大しても価格が下がらない」からだ。本書は、その日本の医療と介護を食い物にしつつある存在と、それに対抗するための希望を与える事例について、レポートしている。その中心的なメッセージは、「無知は弱さになる」である。つまり、日本の国民皆保険制度は「いつでもどこでも平等に医療を受けられる」ことを実現し、「アメリカにはない憲法二五条（=生存権）をベースにした、世界が嫉妬する」ものにもかかわらず、多くの日本人の無知に乗じて掠め取られつつある、というのである。

アメリカでは医療と介護は「コーポラティズム（業界（=医療保険・製薬業界やそれらと結びついたウォール街など）と政治の癒着）」ないし「医産複合体」にほぼ乗っ取られ、金持ち以外は「天国に行く前に地獄を通過せねばならない」のが実情だ。日本の国民皆保険（1961年～）は米国のような民間保険ではなく国の責任で行なう「社会保障」だが、三、四十年來の「強欲資本主義」の世界的な攻勢の下、中曽根政権以来の「小さな政府」「民営化」と米国企業の日本市場進出を促進する政策などで侵食されてきた。近年は、反民主主義的な「経済財政諮問会議」（2001年1月～）や「国家戦略特区」などの政府の手法により、その形骸化（韓国のような「国家解体」「金融植民地化」の危険）が著しい。

しかし、以上のおぞましい状況に対抗する動きも日米で生じている。すなわち、米国では「直接支払い診療」やキリスト教会の共済組織など。日本では、協同組合の精神で長寿と医療費削減を実現した佐久総合病院や、東京都足立区の「給食革命」など。それらからは、身近な自治体レベルで充実した医療を取り戻す希望が浮かび上がってくる。そして、地域医療と「医療外交」で成果を上げ、医療を持続可能な「成長産業」にするのに成功したキューバなどの例が示すように、医療は「地方創生の救世主」となりうる、という。

他にも本書は、今日「常識」化している俗説のウソやスリカエを指摘していて啓発的である。たとえば、「高齢化で医療費が高騰し医療の破綻につながる」、「薬の開発には膨大な費用がかかる（ので、高い薬価もしかたがない）」、「日本の医師の数は十分だ」、「社会保障は世代間の助け合いだ」など。

国民皆保険は、人権、民主主義や平和主義などとともに戦後の日本がやっと手に入れた「宝物」である。それらの破壊者の実態や手口を知り、その企てを撃退する示唆を得るために、本書は必読書の一つといってよい。

■ 歌わせたい男たち

永井愛 著 而立書房

(本館)

912.6

N-2

2008.3 ISBN:9784880593470 本館 閲覧室 2階 学生用図書

入学・卒業式などに関連して教員が処分せいしょうされることが増えている。「君が代」演奏(や、日の丸掲揚)時の不起立や伴奏・斉唱拒否がその理由である。本書はそのテーマをあつかった戯曲である。その特徴は、教員たち——校長と様々な立場の数人の——の会話が大半を占めていることである。それにより、読者に縁遠く、また違和感をもって受け取られがちな問題を、「現場」の事実として、つまり読者と同じ、等身大の生身の人間の——混乱や矛盾、猥雑さ、などをともなう——経験として、わかりやすく伝えてくれる。特に、「取材の過程で得た実話」が多数、盛り込まれたことが、効果をあげている。

一、二の読みどころはにふれると、ノンボリの新任音楽講師と——「ガチガチの左翼」とのレッテル貼られているが、実は——繊細で人間的な心情まじと節操ゆえに「不起立」を選んだ日本史教師の間の、しばしば名古屋弁を交えた、ユーモラスで軽妙な、だが勘所かんどころではシリアスでもある、やりとり。また、不起立などの「事件」回避に小 心翼翼と腐心・苦悩し、無理な「君が代」解釈や珍妙な「自由」論までもちだして、(官僚的な)自己正当化を図る校長の、愚かしく哀れな姿(その背景にある、「連帯責任」「管理責任」を名目として、広く校長や教員たちを教育委員会が処分・「指導」する仕組)。

それらは、「国歌」(と「国旗」)の強制が、いかに理不尽で、良心と人間性を侵し退廃させるものか、ということ、文学の力ではっきりと示している。日本史教師ないし音楽講師が歌う3つのシャンソン(ダミアの「暗い日曜日」など)も、そのメッセージ性が心に響く。

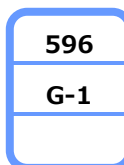
今日、「改革」を掲げつつ、大衆はくの非合理的な衝動に訴えて公務員・教員・外国人・正社員などのバッシングで人気を博する政治スタイル(=ポピュリズム)が内外で台頭たいとうしている。それと対決する上でも本書は貴重な貢献である。

● 情報工学部

小田部荘司先生のおすすめ

- 「チューブ生姜適量ではなくて1cmがいい人の理系の料理」 (本館・分館)
五藤隆介 秀和システム

2015.9 ISBN : 9784798043661 分館 閲覧3階 工学・技術 学生用図書
本館 閲覧室1階 ベストセラーコーナー 学生用図書



著者は典型的な理系人間で、学生時分には料理はほとんどしたことがなく、奥様のつわりがひどくなったところで、初めて料理に手を出します。うまいこと奥様のアドバイスにより料理ができる人になりました。その過程が細かく書かれていて、非常に好感を持てます。

理系には納得しやすい説明が続きます。たとえば「生姜少々」は生姜のチューブから1cmとしましょうとか、強火は素人には使いにくくて、沸騰させるときに位しか使えないとか確かにそうです。

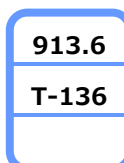
「塩適量」は「とんかつソースはお好みでどうぞ」というのと同じとかも、いい説明です。まずは定量的に実験を進めていく態度も好感が持てます。

この本には牛丼とうどんの作り方しか書かれていないです。あとはどうするのか？それは検索すればいいわけです。材料を入れればいくらでもレシピが出てきます。そのレシピの読み方や利用の仕方が詳しく解説されているので、作ってみようという気になります。たとえば「大根のいちよう切り」が分からなければ、それをまた検索すれば動画も出てくるわけです。便利な世の中です。

レベルは低くても料理ができると、人生を豊かに過ごすことができます。私は朝ご飯とお弁当を週5日、夕飯を週1日だけ作っております。

- 「モナドの領域」 (分館)
筒井康隆 新潮社

2015.12 ISBN : 9784103145325 分館 閲覧3階 文学 学生用図書



80歳を越えて筒井康隆が書いたので、「最高傑作にして、おそらく最後の長篇」とか紹介されています。ミステリー風なところから始まり、SFやジュブナイル風なところもありながら、神との会話がなぜだか行われていくという、いかにも筒井康隆の小説になっています。作者の博識なところが遺憾なく発揮されているので、ここから引き合いに出されているたくさん本に進んでみるのも一興でしょう。

これまでも「パプリカ」「時をかける少女」「旅のラゴス」「七瀬ふたたび」とか興味深い本がたくさんあります。この「モナドの領域」が最後の長篇というのはあまりに惜しいです。

■ 「人類5万年文明の興亡

：なぜ西洋が世界を支配しているのか（上・下）」

(分館)

イアン・モリス, 北川知子(訳) 筑摩書房

2014.3 上 ISBN : 9784480861276 分館 閲覧3階 工学・技術 学生用図書
下 ISBN : 9784480861283 分館 閲覧3階 工学・技術 学生用図書

209	209
M-3	M-3
1	2

西洋社会は産業革命に成功し、東洋を圧倒しているように見えます。今のところは。これに対して著者はホモサピエンスがアフリカを出たところから話を始めて、なぜ西洋社会が現在のところは世界を支配しているのかを解きます。著者は社会発展指数というのを考え出して、それをもとに文明がどのように発展してきたのかをつまびらかにします。西洋は地理的な有利さから東洋より発展してきましたが、11世紀には中国の発展度は西洋を越えていました。現在は西洋が若干有利ですが、2103年には東洋が西洋を再び凌駕すると予見しています。

この本がすばらしいのは、世界史を端から端までレビューしており、同時代に世界中で何が起こったのかというのを、うまく語っているところです。どうしても世界史の本では、エジプトとかローマとか中国とか地域で限定してしまいがちですが、ここでは全てが同時に語られます。著者は考古学者ですが、もちろん歴史に深く強く、どのページも一冊の本が書けるような内容になっています。

日本の語られ方も興味深いです。枕草子が最初に出てくるのですが、次は豊臣秀吉です。また明治以降の日本の世界に与えた影響はやはり大きいということがよく分かります。

藤原暁宏先生のおすすめ

■ 「うらおもて人生録」 (新潮文庫 い-21-2)

色川武大 新潮社

1987.11 ISBN:4101270023 分館 閲覧3階 文学 学生用図書

(分館)

914.6
I-45

20代に「生きていくための技術」を学んだ本です。



伊藤高廣先生のおすすめ

■ 「時刻表 2 万キロ」

宮脇俊三 河出書房新社

1980.6 ISBN:9784309470016 分館 閲覧 3 階 歴史 学生用図書

鉄道紀行文学の傑作。鉄道の旅に出たくなります。

(分館)

291

M-4

■ 「ドイツ 鉄道旅物語」

野田隆, 横溝英一(絵) 東京書籍

1995.8 ISBN:4487792215 分館 閲覧 3 階 歴史 学生用図書

海外鉄道旅行書の傑作。ドイツの鉄道に乗りに行きたくなります。

(分館)

293.4

N-2

■ 「電車をデザインする仕事

： なのつ星、九州新幹線はこうして生まれた！」

水戸岡 鋭治 日本能率協会マネジメントセンター

2016.11 ISBN:9784101206561 分館 閲覧 3 階 工学・技術 学生用図書

J R 九州の車両、駅舎、制服までデザインする水戸岡さんの考え方が興味深いです。ファン必見。

(分館)

536

M-2

■ 「理科系の作文技術」

木下是雄 中央公論社

1981.9 ISBN:4121006240 分館 閲覧 3 階 自然科学 学生用図書

本館 閲覧室 3 階

学生用図書

(分館)

407

K-3

(本館)

407

K-8

仕事をする人必読の書。必ず役に立つ。

■ 「小袖日記」

柴田よしき 文藝春秋

2010.7 ISBN:9784167203153 分館 閲覧 3 階 文学 学生用図書

源氏物語の作者のもとへタイムスリップして取材を手伝うという、SFっぽいミステリー。
最近NHKのラジオドラマで放送され、読んで面白かった。軽く読めます。

(分館)

913.6

S-216

■ 「オープン&クローズ戦略 日本企業再興の条件
増補改訂版」

小川紘一 翔泳社

2014.2 ISBN:9784798144252 分館 閲覧3階 社会科学 学生用図書

(分館)

336.1

O-17

2

工業製品、特に、ソフトウェア製品の海外戦略について詳しく説明されていて、グローバル社会で必要になる知識が得られます。

著者の小川先生からオープン・クローズ戦略の重要性を教えていただき、私自身もOSS活動にも活かしています。

■ 「「納品」をなくせばうまくいく
：ソフトウェア業界の“常識”を変えるビジネスモデル」
倉貫義人 日本実業出版社

2014.6 ISBN:9784534051943 分館 閲覧3階 工学・技術 学生用図書

(分館)

548.93

K-41

著者の倉貫さんは、ソフトウェア開発の受注スタイルを大きく変えようとしている方です。
ソフトウェアの受託開発で、アジャイル開発スタイルを利用して、発注者、受注者ともに満足できる仕組みを提案されています。今後のソフトウェア開発のあり方として参考になります。

■ 「ソフトを他人に作らせる日本、自分で作る米国
：「経営と技術」から見た近代化の諸問題」
谷島宣之 日経BP社

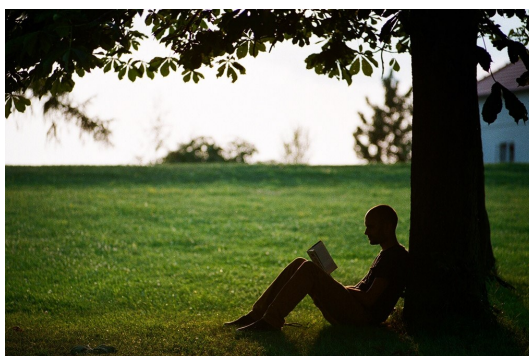
2013.12 ISBN:9784822273781 分館 閲覧3階 社会科学 学生用図書

(分館)

336.1

Y-15

ソフトウェア開発の日米の違いを知っておくことは重要です。
日本の考え方、米国の考え方それぞれですが、グローバルを目指すのであれば、米国の考え方を知っておくべきです。



安永卓先生のおすすめ

■ 「大学生物学の教科書：カラー図解：アメリカ版」

デヴィッド・サダヴァ, 石崎泰樹(訳), 丸山敬(訳) 講談社

第1巻「細胞生物学」

			(分館)	(本館)
2010.2	ISBN : 9784062576727	分館 閲覧3階 文庫本コーナー 本館 閲覧室1階 文庫 本館 閲覧室3階	学生用図書 学生用図書 研究用図書	
			081	408
			B-1	B-2
			1672-1	1672
				463
				S-4

第2巻「分子遺伝学」

			(分館)	(本館)
2010.5	ISBN : 9784062576734	分館 閲覧3階 文庫本コーナー 本館 閲覧室1階 文庫	学生用図書 学生用図書	
			081	408
			B-1	B-2
			1672-2	1672-2

第3巻「分子生物学」

			(分館)	(本館)
2010.8	ISBN : 9784062576741	分館 閲覧3階 文庫本コーナー 本館 閲覧室1階 文庫	学生用図書 学生用図書	
			081	408
			B-1	B-2
			1672-3	1672-3

第4巻「進化生物学」

			(分館)	(本館)
2014.7	ISBN : 9784062578752	分館 閲覧3階 文庫本コーナー 本館 閲覧室1階 文庫	学生用図書 学生用図書	
			081	408
			B-1	B-2
			1672-4	1672-4

第5巻「進化生物学」

			(分館)	(本館)
2014.9	ISBN : 9784062578769	分館 閲覧3階 文庫本コーナー 本館 閲覧室1階 文庫	学生用図書 学生用図書	
			081	408
			B-1	B-2
			1672-5	1672-5

MITなどでも使われている大学における世界標準の生物学の教科書です。

工学系であるからこそ、敵として、仲間として、師としての生物を知ることは大切です。

一度お目通しあれ。

■ 「「100分de名著」名作セレクション」

NHK「100分de名著」制作班 文藝春秋

2016.11 ISBN : 9784163905389 分館 閲覧3階 総記 学生用図書

生きていく中で過去の哲学者、文学者達の言葉に触れることは必要だと思います。
つかれたとき、うれしいとき、色んな時に改めて読むとその感じ方が異なります。

坂本順司先生のおすすめ

■ 「昨日までの世界：文明の源流と人類の未来（上・下）」

ジャレド・ダイヤモンド, 倉骨彰(訳) 日本経済新聞出版社

(上)2013.2 ISBN : 9784532168605 分館 閲覧3階 社会科学 学生用図書
本館 閲覧室2階 学生用図書
(下)2013.2 ISBN : 9784532168612 分館 閲覧3階 社会科学 学生用図書
本館 閲覧室2階 学生用図書

(分館)		(本館)	
389	389	389	389
D-7	D-7	D-3	D-3
1	2	1	2

現代社会は文明化されて便利で快適になった一方、様々な課題を持ち越し新たな問題も生み出している。現代人は不便で不快な未開社会の段階を嫌い逃れて来たわけだが、著者のジャレド・ダイヤモンドは、地球上に広く残る未開社会にも学ぶべきあるいは参考にすべきアイテムがたくさん存在すると唱える。他人への警戒と受容、個人の感情と法の秩序、子供の保護と放任、高齢者の尊重と敬遠、危険への備えと楽観、宗教の役割、使用言語の複数性、食生活などについて、伝統的社会は多様な選択肢の実例を提供しているが、今やそれらの多様性が急速に失われつつあるので、急ぎ救い上げてより良い明日を築く教材にしようと誘う。

鳥類学や進化生物学の研究者としてニューギニアでのフィールドワークの経験が長い米国人著者は、原始的社会の珍奇な風習を外在的にカタログ化する姿勢ではなく、自ら体感した別世界の論理と実情を内在的に記述する姿勢を採るリベラリストでありながらも、18世紀のジャン-ジャック-ルソーのようにそれを理想化するような陥穽には無縁のリアリストでもある。

我ら日本人のように、近現代西洋文明にどっぷり浸かり適応して全面的な恩恵も受けながら、一方で人類が総体としてもう少し違った方向に舵を切る方がより良い世界に近づくだろうし、我々こそがそれを提示できる素地と責務があるのではないかと感じる者たちに対して、さらにその視野を広げて説得力を増す手懸かりと、広い意味での同志が現れたという希望とを与えてくれる好著である。

朗読がCDのオーディオブックになっており、英語のヒアリング教材にも適する。

半世紀を超える研究活動と80年になりなるとする個人的体験が、トータルで人類社会への体系的示唆・指針になりうるとは、何とやらやましい学者人生であることか。

■ 「サピエンス全史：文明の構造と人類の幸福」

ユヴァル・ノア・ハラリ, 柴田裕之(訳) 河出書房新社

(上)2016.9	ISBN : 9784309226712	分館 閲覧 3階 歴史	学生用図書
		本館 閲覧室 3階	学生用図書
(下)2016.9	ISBN : 9784309226729	分館 閲覧 3階 歴史	学生用図書
		本館 閲覧室 3階	学生用図書

(分館)		(本館)	
209	209	209	209
H-2	H-2	H-5	H-5
1	2	1	2

長い人類の歴史を、生物学からの連続性のもとに、一貫した視点で記述する壮大な試み。600万年前にチンパンジーの祖先から別れた人類は、250万年前にヒト属を生み出し、20万年前にホモ・サピエンス種を分岐させたが、その頃まではまだヒトも純然たる生物学的世界の一員として、捕食／被食関係の網の目が張り巡らされた生態系の一角に位置付けられていた。

しかしサピエンスは、言語能力に基づく新しい思考と意思疎通の方法を獲得することによって「認知革命」を果たし、一般的「生物学」から離陸していった。7～3万年にかけて船や灯火・弓矢・縫い針などの道具を発明し、芸術を生み出し、地球全体に居住範囲を広げ、他の人類種を追い払いながら、生態系の覇者となっていった。さらに1万2000年前の農耕開始による「農業革命」と、500年前に始まる「科学革命」によって、個体数を加速度的に増やし、自然環境を劇的に変え、多数の生物種を絶滅の危機にさらしていった。

不連続性を十分認識しながらも、生物学からの一貫した視点で人類史をつづる本書の特徴の1つは、歴史を評価する姿勢の相対性だろう。例えば農業革命は、ヒトの個体数の大幅な増加を可能にしたという意味ではポジティブな面もあるものの、過酷な単純労働を広め、感染症の新興や蔓延をもたらしたことなどにより、むしろ人類の不幸を増やした面もある。著者の相対主義は徹底しており、負の評価が一般的な帝国主義や植民地経営などでさえ価値中立的に分析する。本書のもう1つの特徴は、認知革命がもたらした人類の思考法を共同主観的(inter-subjective)なものととらえていることである。宗教であれ企業(法人)・資本主義・民主主義であれ、現実にはない幻想こそが歴史の原動力であると見る。

著者のユヴァル・ノア・ハラリはイスラエル人歴史学者であり、本書は2011年のヘブライ語版が元になっている。時に人の心を逆なでるほど徹底したアイロニカルな相対主義は、ユダヤ文化の伝統を強く感じさせるが、生物学に確固とした着地点を持つおかげで、ポストモダンや社会構成主義の罠に陥る心配は感じさせず、むしろ既成学界や「グローバリズム」の主流派思潮による籠絡を防ぐ有効なよすがとしての価値が高いだろう。待望の好著である。

■ 「文明の生態史観」 (中公叢書)

梅棹忠夫 中央公論社

1967.1 ISBN : 4122001358

分館 閲覧3階 社会科学

研究用図書

本館 閲覧室2階 可動式書架

研究用図書

(分館)

(本館)

361.6

361.6

U-1

U-2

世界史を概括的にとらえ、日本および日本人の自己認識を確立するのに好適の書。

生物学から人類学に転向し、深い学識に基づく独創的な思索で幅広い分野に影響を与え、大阪・千里の国立民族学博物館館長を長く務め、2010年に亡くなった碩学 梅棹忠夫が、生態学的考え方を人類文明の歴史に適用し、当時の言論界に強いインパクトを与えた一連の論考を集めた書物。

インド・中国・ロシアの台頭や、キリスト教vsイスラム教の「文明の衝突」、民族と国家の乖離・離反など、近年の国際情勢を底部から理解するのに有効な思考の枠組みを与える現代的古典。

日本人が自虐的にも夜郎自大にも陥らず、紳士的な誇りを保ちバランスのとれた感覚を養って、世界を冷静に眺めるのにも役立つ。

ユーラシア大陸西部の紛争が激化し、さらに世界に拡散しつつある現在は特に、一步距離をおいた東端から冷静な知恵を発揮するのが、日本人の使命かもしれない。

前田衣織先生のおすすめ

■ 「羽生結弦語録」

羽生結弦 ひあ

2015.10 ISBN : 9784835628486

分館 閲覧3階 芸術 学生用図書

(分館)

784.6

H-1

一流の仕事をするのに年齢は関係ないのだと、驚かされる1冊。これまで男子フィギュアの選手達が誰もなし得なかった偉業を達成しながら、さらなる高みを目指すという、果てしない挑戦。普通に考えるとあり得ないようなレベルの話ですが、それは彼の才能もさることながら、日々、地道な努力を重ねるといふ、当たり前のことが大切なのであると気付かせてくれます。

「壁を乗り越えたら次の壁しかなかった。」という言葉は、仕事の厳しさを教えてくれます。また、「日本国民として恥ずかしくないかどうか、日本人として胸を張っていられるのかどうか、それが一番大事なのではないかと思います。」という言葉には、彼の人としての考え方が表れており、私達自身も考えさせられます。

ソチオリンピックで金メダルを獲得し帰国した時に「日本に帰ってきて何をやりたいか？」と問われて「やりたいことは特にありません。早く練習したい。」と答えたことなど。このような彼を側で見ているご家族はどれだけ大変であろうかと思います。

彼と、彼を支える頼もしい周りの人々の姿が目には浮かびます。一流の考えとはどういうものであるかに触れることのできる本です。

マッカーシー ターニャ ミランダ先生のおすすめ

■ 「理系英語のライティング」

野口ジュディー, 深山晶子, 岡本真由美 アルク

2007.2 ISBN : 9784757411463

分館 閲覧3階 自然科学
本館 閲覧室 3階

学生用図書
学生用図書

(分館)

407
R-2
3

(本館)

407
R-1
3

■ 「理系英語のプレゼンテーション」

野口ジュディー, 幸重美津子 アルク

2007.2 ISBN : 9784757411470

分館 閲覧3階 自然科学
本館 閲覧室 3階

学生用図書
学生用図書

(分館)

407
R-2
4

(本館)

407
R-1
4





これからも素敵な本と出会って下さい。

■編集・発行■

九州工業大学附属図書館

図書館サービス係・情報工学部分館図書係

2017年2月（第三版）

tos-service@jimu.kyutech.ac.jp

tos-jphotosyo@jimu.kyutech.ac.jp